

令和４年度 第１回栃木県立茂木高等学校 学校運営協議会 報告

１ 期 日 令和４年 ６月２８日（火）１４時００分～１５時３０分

２ 場 所 栃木県立茂木高等学校 プレゼンテーション室

３ 委 員（敬称略）

	氏 名	性別	備考１	備考２
１	わたなべ あきら 渡辺 晃	男	教育委員会が認める者 地域住民代表（企業関係者）	株式会社ヘルシーフーズリタナベ （あさひ納豆）専務
２	あかば かずのり 赤羽 一記	男	教育委員会が認める者 同窓会代表	茂木高等学校同窓会顧問 元茂木高等学校校長
３	かわしま よしあき 川島 芳昭	男	教育委員会が認める者 学識経験者	宇都宮大学共同教育学部教授
４	くえーとお れいこ クエートオ 玲子	女	教育委員会が認める者 地域住民代表	同窓会副会長
５	さとう わたる 佐藤 亘	男	教育委員会が認める者 地域住民代表	同窓会青年部長
６	ながしま みゆき 永嶋 美由喜	女	教育委員会が認める者 保護者代表	茂木高等学校ＰＴＡ会長
７	さくらい こういち 櫻井 光一	男	教育委員会が認める者 地域行政代表	茂木町企画課企画係課長補佐 兼係長
８	せき えいじ 関 栄二	男	教育委員会が認める者 地域行政代表	茂木町教育委員会教育長
９	ほりえ じゅんいち 堀江 順一	男	教育委員会が認める者 地域行政代表	茂木町教育委員会 生涯学習課長
１０	みずぬま まこと 水沼 誠	男	教育委員会が認める者 地域小学校代表	茂木町立茂木小学校長
１１	こまつぎき まさくに 小松崎 正訓	男	教育委員会が認める者 地域中学校代表	茂木町立茂木中学校長
１２	たかの りゅうたろう 高野 龍太郎	男	教育委員会が認める者 対象学校の校長	茂木高等学校長

４ 来賓者（敬称略）

小瀧 学 （栃木県教育委員会総務課指導主事）
 雫 晃 （栃木県教育委員会高校教育課指導主事）
 湯澤 有孝 （栃木県教育委員会高校教育課指導主事）
 熊田 孝幸 （栃木県立日光明峰高等学校）
 青木 信太郎 （栃木県立馬頭高等学校）
 シーマン健斗アレクサンダー （栃木県立馬頭高等学校）

5 校内出席者

教頭、事務長、主幹、教務主任、進路指導部長、特別活動部長、学習指導部長
学事情報部長 教務副主任

6 第1回学校運営協議会の主な内容

- 1 任命書伝達〔県教委〕
- 2 開会
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 栃木県教育委員会挨拶
- 6 委員紹介・来賓者紹介
(渡辺委員、櫻井委員、水沼委員は所用により欠席)
- 7 会則説明
- 8 議事
- 9 閉会・事務連絡

7 議事録

(1) 学校運営に関する基本的な方針の承認

○学校の現状と課題について、資料をもとに教頭（R3 年度第3回学校運営協議会報告、本校概要）、主幹（学校評価）、学習指導部長（キャリア教育活動）、進路指導部長（進路状況）から説明があった。

●これらのことについて、特に意見はなかった。

○学校運営に関する基本的な方針について、資料をもとに校長から説明があった。

●これらのことについて、特に意見はなかった。挙手多数により、学校運営に関する基本的な方針について承認された。

(2) 学校の魅力化、特色化について

○主幹より、公営塾（ゆずも塾）について説明があった。

○堀江委員より、公営塾（ゆずも塾）について説明があった。その中で、今年度新たに、茂木中学校への公営塾開設に向けて現在協議中との報告があった。

●このことに関し、川島委員長より次の質問があった。

「茂木中への導入は今年度ということによろしいか。」

●堀江委員から、次の通り回答があった。

「そうである。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「高校での公営塾に関して、子どもたちの様子としては積極的であるのか、また始まったばかりでまだ手探りの状態なのか、様子を教えてほしい。」

●堀江委員から、次の通り回答があった。

「おおむね積極的である。ただ今後、塾生の人数が増えるようであれば、運営側で何らかの対応を考えなければならないと思われる。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「現在、公営塾は何名で運営しているのか。」

●堀江委員から、次の通り回答があった。

「現在、塾生最大 126 名に対し、講師は 3 名である。町としては講師を増やすことは可能であるが、現在は新しく入った講師との連携を固めることを優先したい。増員については、その後、検討する。」

●赤羽委員より、次の質問があった。

「公営塾について、公営塾と学校との棲み分けのようなものはあるのか。また、公営塾で課外授業のようなものは行っているのか。」

●主幹より、以下の通り回答があった。

「課外授業のようなものは実施していない。あくまでも塾生との個別面談を通して、普段の高校での学習の定着を図ることが中心である。」

●赤羽委員より、次の質問があった。

「公営塾がない日は、生徒が学校の教職員に質問していると思うが、そのあたりについて何か変化はあるのか。」

●主幹より、以下の通り回答があった。

「現在、試験期間中であるが、塾生も 19 時までには南校舎との往来が可能であるため、職員室に来て質問する姿が見られる。また、教員も公営塾の場所で質問を受けるケースも見られる。学校と公営塾を完全に分けるというわけではなく、生徒が自ら選択し指導を受けているという状況である。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「先程の施錠に関する説明だと、ゆずも塾は 19 時までなのか、それともそれ以降までやっているのか。」

●主幹より、以下の通り回答があった。

「説明での 19 時までというのは、以前から南校舎で行っている居残り学習(4教室)の終了時間である。塾自体は20時30分まで開いている。塾生は、19時以降は南校舎に入らないことになっており、入退室に関しては、北校舎のオートロックが付いている出入り口を利用することになっている。」

●クエートオ委員より、次の質問があった。

「公営塾について、塾講師の謝礼は町が負担しているのか。また塾の時間割について、生徒は学年ごとに授業に臨むのか、学年の垣根を越えて授業に臨むのか。」

●堀江委員より、以下の通り回答があった。

「塾講師は町の職員として任命している。制度として“地域おこし協力隊”というものを導入

しており、いったん町が講師の給与を支払うが、国が全額負担することになっており、町からの持ち出しはない。時間割については、現在、学年の垣根を越えて実施している。以前は学年ごとに実施していたが、どうしても学年ごとに温度差があった。そのため、3年生の姿を下級生に見せることでよい影響が出ることを期待し、現在の形態になった経緯がある。ただ、この形態での実施により、塾生の人数が増えてしまった現状があるので、今後検討する必要性を感じている。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「塾は3教室で実施しているのか。1教室に40名程度に分かれているのか。」

●堀江委員より、以下の通り回答があった。

「教室は3教室である。120名が毎日参加しているわけではないため、1教室あたりの人数は状況による。試験期間中はどうしてもいつもよりも参加人数が増える傾向にある。」

●赤羽委員より、次の質問があった。

「中学校での公営塾導入について、中学校側や生徒の反応はどうか。」

●堀江委員より、以下の通り回答があった。

「まだ、中学校の生徒、保護者に内容を降ろしている状況にはなく、検討中の段階である。ただ、高校と同じようなかたちでは実施できないものと考えている。中学生はスクールバスを利用しているため、高校のように20時30分まで開講することは難しい。スクールバスの最終便までの開講が現実的であろう。そこで講師の日中の勤務時間を長くし、学校での授業のサポートができないかなど、現在検討しているところである。」

●小松崎委員より、以下の通り補足の説明があった。

「中学校としては、今年度9月からの開講を考えており、様々な観点からどのようなかたちでの実施がよいか検討している状況である。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「スクールバスの最終は何時になるのか。」

●堀江委員より、以下の通り回答があった。

「18時10分である。」

●川島委員長より、次の質問があった。

「塾の講師については、いつぐらいのタイミングで何人募集する予定なのか。」

●堀江委員より、以下の通り回答があった。

「募集は随時行っている。来月、講師2名の最終選考を行う予定である。」

●これをもって、茂木町公営塾についての協議を終了した。

○教頭より、創立百周年記念事業について説明があった。

●川島委員長より、次の質問があった。

「記念品、祝い菓子等、とてもいいもので、本校の特色をアピールできると考える。アトラクションについて、日体大の集団行動を実施する方向で進んでいるのか。」

●教頭より、次の通り回答があった。

「集団行動ではなく、チャリーディングになる。現在、実施の方向で進んでいる。夏休みに日体大から2名来校予定で、具体的な調整をすることになっている。」

●これをもって、創立百周年記念事業についての協議を終了した。

○委員それぞれの立場から自由な意見を求めた。

●クエートオ委員より、次の通り発言があった。

「卒業生である井上咲樂さんの活躍がめざましい。茂木高校PRビデオを制作し、彼女に出演してもらうのはどうか。」

●校長より、次の通り回答があった。

「茂木テレビにご協力いただき、本校のPRビデオは毎年制作しており、一日体験学習や学校説明会等で活用させていただいている。井上咲樂さんについては、昨年、本校の創立記念講演会で講演していただいた。委員のご提案は確かに理想的ではあるが、出演料のハードルがある。そのあたりを含めて、今後検討していきたい。」

●赤羽委員より、次の通り発言があった。

「茂木高校では様々な取り組みをしているが、それらは授業以外の事業であり、教員の過重労働が懸念される。ビルド&スクラップを意識した取り組みをお願いしたい。」

●関委員より、次の通り発言があった。

「茂木高校の存在は町にとっても大きな活力である。教育委員会として、小・中・高が一体となって進められるようなものを構築できないかと考えているところである。高校側から何かご意見があれば、今後、ぜひ出していただきたい。」

(3) その他

○教頭より、今後の学校運営協議会の開催について、次の通り説明があった。

第2回は11月下旬、第3回は2月下旬を計画しており、第2回の日程調整のアンケートを10月上旬に実施すると説明があった。

●以上をもって、すべての協議を終了した。

事務連絡

○教頭より、本日16時30分まで開講している公営塾参観の案内があった。

●以上をもって、閉会した。